

芸術の森地区町内会連合会

広報

やませみ

第20号

平成15年1月15日

発行 芸術の森地区
町内会連合会
印刷 (株)辻孔版社

初日の出（松野正勝氏撮影）



年頭のごあいさつ



南区長 齋藤 勲

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつ申し上げます。日頃から芸術の森地区町内会連合会の皆さまには、ふれあい街づくり事業や福祉除雪など区政の推進に特段のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

芸術の森地区町内会連合会は、平成七年に発足して以来、地域の特性を生かしたさまざまな活動を行っています。特に、札幌芸術の森やユニークなアート系

年頭の挨拶

力を芸森連町に

芸術の森地区
町内会連合会
会長 高橋 稔一

地区音楽祭」の開催であります。文化マップの作成は、新しい試みであり困難が予想されました。が、幸いにも市立高等専門学校と南区役所関係者の御指導と御協力により完成しました。当地域のビジョンであります「人と自然にやさしい文化推進の里」の実現に大きく寄与するものと高く評価されています。

平成十五年度は、皆様が自らの地域を、更に深く理解し、活用できる資料「芸術の森地区百選」の作成を予定しています。

第七回音楽祭は、プログラムや座席が不足し、立ち席で鑑賞して頂く程の盛況であります。札響で活躍している橋本純一郎氏をはじめとする五名の団員の皆様には地域のために無料で御出演のうえ、アンコールにも応えて頂き、錦上華を添えて頂きましたこと、心から感謝申

し上げます。

本年の「第八回芸術の森地区音楽祭」も更に充実し、地域の誇りとなる行事になることを願っています。

真駒内川の改修問題は、「考える会」で自然の恢復と洪水の防止を両立させる観点から論議し、ほぼ満足を頂ける結論を得ました。このあとは整備審議会を経て改修がなされます。

国道四五三の改修は車道幅とバスペイを拡張し浸透式の舗装を完了しましたが、歩道に危険箇所がありますので対応を開発局に求めます。

この他にも重要な問題が山積しています。皆様のお力を是非芸森連町に結集して下さい。

新年、おめでとうございます。芸術の森地区の皆様がお元気で清々しい新年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。昨年も皆様の結集された力と盛り上がる熱意と協力が実を結び、諸行事を滞りなく進めることができました。

昨年一年間の活動で特記される成果は「芸術の森地区文化マップ」の作成と「第七回芸術の森

専門学校として知られる札幌市立高等専門学校と地域が、共に協力しながら進める活動は、「芸術の森」の名に相応しい、文化性豊で高い芸術性を誇る活動として広く区内民に知られています。

昨年末に完成し、既に皆さまのご家庭に配布されました「芸術の森地区文化マップ」は、芸術の森地区で文化・芸術活動などをされている方を紹介した冊子で、地域の皆さまが中心となつて恵を出し合い、市立高等専門学校の後藤教授をはじめとした関係者の協力と区のアドバイスにより作成されました。今後はこのマップを十分生かして、小中学校の総合的な学習や地域の自主的な活動などに活用していただきたいと考えております。

現在札幌市では、協働都市に向けた取り組みを進めておりま

す。南区でも、さまざまな活動をとおして区役所自らが変わつて行こうと全職員が眞剣に取り組んでおります。特に地域との協働や連携では、文化マップに見られるような、地域・関係団体・区役所などが共に恵を出し合いながら進めて行く活動を、「協働の先駆的な例」として南区全体に広めて行きたいと考えております。

南区では、今後とも協働都市へ向けた活動に対し、できる限りの支援をして行くと共に、皆さまの活動が今後ますます活発に展開していくだけるようお願ひを申し上げます。

最後に芸術の森地区町内会連合会の更なるご発展と、皆さまへのご多幸を心からお祈り申し上げ、念頭のごあいさつといたしまして南区では、今後とも協働都市へ向けた活動に対し、できる限りの支援をして行くと共に、皆さまの活動が今後ますます活発に展開していくだけるようお願ひを申し上げます。

南区では、今後とも協働都市へ向けた活動に対し、できる限りの支援をして行くと共に、皆さまの活動が今後ますます活発に展開していくだけるようお願ひを申し上げます。



第七回芸術の森地区音楽祭は
十月二十七日札幌芸術の森アーチ
ホールで開催されました。

当日は天候にも恵まれて、例
年より多くの聴衆の方が来られ、
大人や子供が一緒に来られ、
いなハーモニーにウットリと聞
き入っておられ、楽しい一日を
過ごされました。
出しものは、女性合唱に始ま
りマンドリン独奏、民謡（江差
追分）、大正琴、アカペラ、金
管バンド、そのほか多くの音楽
があり、最後に常盤中学校吹奏
楽の演奏がありました。
また、前年に続いて札幌交響
楽団より橋本様ご夫妻、市川ヴ
インチエンツォ様、坂口聰様の
ボランティア出演で華を添えて
頂きました。
主催をされました芸術の森町

芸術の森地区音楽祭 一年毎に聴衆が増える中で――



去る十一月二日、三日の両日
芸術の森会館において開催され
ました。今回の出品点数は七十点あり
ましたが、中でも手芸、制作品
の出品が四十点を数えました。
このほか絵画、陶芸、写真、生
け花、書道なども数多く出され
訪れた方々の目を楽しませてくれ
ました。

文化祭に關係の深い当地区の
文化マップができ上がりました
ので、明年へ向けては、より多
くの方より多くの作品が出品さ
れるものと期待されています。



また、いくつかの町内会で開
催されている展示会と連動する
ことにより、作品数も増えます
ので、この面からの検討も必要
ではと考えています。



「女性部会員各自が家庭にお
ける交通安全教育の推進者とな
り、身近な活動を通じ交通事故
のない幸福で明るい地区をつく
ること」を目的に、平成八年
「芸術の森地区交通安全母の会」
が発足しました。

今年度も、四季における連絡
所前、グリーンホテル前の街
頭啓発を推進委員会・交通安全
部とともに実施し、また、本地
区の大運動会では、啓発品の配
布を通じ、交通安全をよびかけ
ました。春には、例年のように、
新一年生への入学祝いプレゼント
を企画しています。

母の会としては、各单町三名
以上の参加を目標に積極的に取
り組んできました。一年を通して
と延べ一五〇名の女性部の参
加があったことになります。

私たちにとって、車のない生活
は考えられません。車は人が動
かすものです。人の心に訴える
地味な啓発運動が事故防止に少
しだけお役に立てれば幸いです。

交通安全母の会の活動

芸術の森地区交通安全母の会
会長 三上 良子

南区交通安全推進委員会
が十一月末現在で纏めた南
区の交通事故発生件数は、
前年比八六%とかなり減少
しました。

死者数は十一名で前年並
ですが、傷者数は八八六名
で一二六名の減少となりま
した。

傷者数で一一六名の減少
は、昨年の十六名に比べて
大幅なものであり、交通事故
防止運動が功を奏してい
るものと思われます。

春夏秋冬を通して交通安
全運動に参加された皆様に
心から敬意を表します。

交通事故発生 件数は減少



やさしい 菜園づくり・花づくり

芸術の森連町女性部長 吉沢孝子

十一月十四日、恒例となつて
いる女性部講演会を今年も実施
しました。「やさしい家庭菜園
づくりと花づくり」と題して、明
関口明氏（常盤団地町内会長）
にお願いしました。関口氏は、
有機農産物検査員としてご活躍
されていらっしゃいます。ご自
分で菜園づくりをされていらっ
しゃるので、楽しくわかりやす
いです。

五六十名近くの参加者は、スイ
ーとお話ししていただきました。
有機栽培入門として、ボカシ肥
料の作り方、不織布被覆など、
実際に材料を目で見ながら説明
してもらい、会場の皆さんも大
満足でした。花の苗作り、花の
植える時期、家庭菜園で困った
事など、質問もたくさん出てお
りました。

五六十名近くの参加者は、スイ
ーとお話ししていただきました。
有機栽培入門として、ボカシ肥
料の作り方、不織布被覆など、
実際に材料を目で見ながら説明
してもらい、会場の皆さんも大
満足でした。花の苗作り、花の
植える時期、家庭菜園で困った
事など、質問もたくさん出てお
りました。

女性部講演会

石山東平和会館の利用現況

石山東町内会 副会長 堀川昭八

私達の町内会館「石山東平和会館」は、昭和六十二年九月に完成しました。

会食記において古事記三郎氏から建設用地の寄贈を受け、土地高騰の折りの寛大な心でこの地域を愛する気持ちを大切にしたいと考え、その名を後世に残すために平三郎氏の「平」の字を頂き、我が町内会皆んなが健康で「和」をもって事に当たることを祈念して命名しました。

会館使用の概要を紹介します。
町内会活動としての使用は、定期（臨時）総会をはじめ、各専門部の打ち合せ会議、隔月実施の三役・部長会及び班長を含む定例員会、各班会議、更には正月二日に行う親睦麻雀大会から、おとしよりと子供達の交流の場となる“遊びの会”、すでに四半世紀を越える盆おどりやふるさと祭り、敬老会、餅つき大会、各種反省会などを加えて盛りだくさんの事業が消化（使用）されています。
つぎに町内会事業以外の使用ですが、先ず当町内の老人クラブ「石山明正会」から順次あげ

てみたいと思います。

一、石山明正会

(会長 星 重男さん)



常盤スポーツ少年団 二十周年記念行事を終えて

常盤スポーツ少年団会長 池田孝司

常盤スポーツ少年団は、今年で二十周年を迎えた。これは、ひとえに町内会の皆様及び今までご支援いただいた学校関係者又少年団事務局・各部監督コーチのたまものだと思います。現在少年団は、子供約一五〇名在籍し、サポートする事務局・監督コーチは、約六十名です。このように子供たちのためには二十年もの長期に亘り少年団を支えてくださるのは、常盤の地が、一〇〇年前常盤の地に入植し辛苦をなめて来た中でも、子供たちの教育・環境等のためには、幾多の苦労も苦労とも思はず町内の子供たちのために努力してきた伝統が、今も根づいて

現 在子供の数が減つて各部
チ ームを作つて試合を組むの
大 変な時期になつてきています。
そ の 中で少年団を支援してい
だ いている皆様のお力添えで
過 日行つた二十周年記念式典
記念祝賀会におきましては、
冬の寒い中又師走のご多忙の
多 数のご参加をいただき盛大
行 うことができ、事務局一同
謝 をしております。
これから子供たちに、何が
要で何ができるか、少年団の
でいつも検討をしています。



の中では、やはり今までのようには地域の方々のご支援が必要であると痛感しています。そのことを諸先輩に話をした時、とても温かな言葉をいつもいただき大変喜しく思っています。このような環境のなかで少年団を今まで以上に活気のあるものとし、子供たちのための活動を行っていきたいと思います。

(会長 佐藤 麻幸さん)
平成二年に結成され毎月週末
日が稽古日で、段位審査日には
稽古日を含めると月平均五～六回の使用で、現在の会員
は十一名、町内外の各種イベントへの参加も考えています。
トへの参加も考えています。

○カラオケ同好会

(会長 中野 稔久さん)
毎週金曜日、会館備え付けの
カラオケ機器を利用し月平均四

- 文化部 文化祭など年二回
- 女性部 手芸を楽しむ会
- ゲートボール同好会 年二回
- 二、定例利用（明正会以外）
- 書道教室（山谷弘子先生）
- 平成二年から月四回月曜日土

さんの呼びかけで、昭和五十五年に、「ソーラン会」を発足させたのがはじまりで当時は二十名ほどといわれています。以来先生も現在の竹岡先生に引き継がれ、毎週火曜日十八時から二十一時までを稽古日とし、会員は

(会長 塚井アヤ子さん) 昭和五十七年に故山崎マサエさんなどの指導で個人宅で四、五名により発足したとのされが明正会の一クラブとして引き継がれたものであり今年で丁度二十年になります。会員は盛会時二十名前後は数えられたものの現在は八名のことです。町内行事はもとより近隣諸施設への慰問活動にも精力的に参 加し喜ばれており、毎週水曜日を稽古日としています。

と懇談申し上ります
先日行わされました会館十周年記念行事、どきわっこまつり”も沢山のご来賓の方々の参列を賜り、また大勢の子ども達、父兄の方々にも楽しんでいただけ大変盛況のうちに終えることができました。心より御礼申し上げます。
開館当時遊びにきていた子ども達の中には、もう成人にならっている方も多いかと思思います。そう考えると年月のたつのは早いものであり、ま



会館十周年を迎えて

常盤児童会館館長 大高圭

まして常盤児童
十年目を迎える
した。これもひ
お力添えの賜物
けます。

ました会館十周
させられます。開館以来十年と
いう年を節目に、よりいっそう
深く地域に根を下ろし、職員一
同皆様と一緒になって歩んでま
りたいと思います。今後とも
よろしくお願ひ申し上げます。

石山連絡所などを使わせていただき諸行事を行っていましたが、当会館の竣工をみてより例会を開くはじめ各種の同好会活動が俄然活発化し、集会参加率やサークル活動の質の高さは南区内でトップクラスと評価されるまでに充実したといわれています。

○日本舞踊同好会

(会長 増井アヤ子さん)

昭和五十七年に故山崎マサエさんなどの指導で個人宅で四、五名により発足したものとされそれが明正会の一クラブとして引き継がれたものであり今年で丁度二十年になります。会員は盛会時二十名前後は増えられたものの現在は八名のことです。町内行事はもとより近隣諸施設への慰問活動にも精力的に参 加し喜ばれしており、毎週水曜日を稽古日としています。

○詩吟愛好会

(会長 佐藤 廣幸さん)

平成二年に結成され毎週月曜日が稽古日で、段位審査日にそなえる稽古日を含めると月平均五六六回の使用で、現在の会員は十一名、町内外の各種イベントへの参加も考えています。

○カラオケ同好会

(会長 中野 稲久さん)

毎週金曜日、会館備え付けのカラオケ機器を利用し月平均四回の使用です。会員は二十名でふるさと祭り、敬老会などの町内会行事にも出演しプロ顔負けの咽喉を披露しています。

○麻雀愛好会

(会長 河合 次男さん)

毎月二回開かれる明正会例会終了後行っています。年三回他の中の老人クラブのメンバー数名を内会行事にも出演しプロ顔負けの咽喉を披露しています。

○その他の

・保健部 輪投げ大会(十月)の練習、十日間

会館十周年

本年をもちまして常盤児童会館も、会館十年目を迎えることができました。これもひとえに皆様のお力添えの賜物と感謝申し上げます。

先日行われました会館十周年記念行事“ときわっこまつり”も沢山のご来賓の方々の参列を賜り、また大勢の子ども達、父兄の方々にも楽しんでいただけ大変盛況のうちに終えることができました。心より御礼申し上げます。

開館当時遊びにきていた子ども達の中には、もう成人になられている方も多いかと思っています。そう考えると年月のたつのは早いものであり、またその間に来館した子ども達に我々は何ができるのだろうかと改めて責任の重さを感じます。

・文化部 文化祭など年二回
・女性部 手芸を楽しむ会
年二～三回

・ゲートボール同好会 年二回
二、定例利用（明正会以外）

○書道教室（山谷弘子先生）
平成二年から月四回月曜日午後四時から十八時まで、幼児から大人まで幅広い階層の方々が参加、人員は盛会時十五名。
○フラワー・アレンジメント教室（フラワー・サークル「カレンジュラ」）（代表 星 和子さん）
平成十四年十一月から毎週土曜日「楽しく、時には真剣に」モットーに、大好きなお花を親しんでみませんか」と呼びかけています。参加者十二名。

○民謡教室（代表 吉山ノブさん）
元、町内に住んでいた本間

常盤児童会

芸術の森地区文化マップ 『人物編』ができました

◆文化マップのあらまし
豊かな自然環境や芸術文化活動に適した当地区には、音楽をはじめ美術、工芸などの芸術文化やスポーツなど様々な分野で活動されている方が数多く住んでおられます。



地域の親子の ふれあい交流と 子育てサロンの開催

◆地域の親子のふれあい交流

子育て中の親子と地域の方々が触れ合い、交流が出来る場として常盤児童会館において下記の日程で行います。芸術の森地区の方ならどなたでも参加できます。

2月17日（月）
午前9:45～11:15 「お楽しみ会」
体操・ゲーム・
ペーパーサートなど

◆子育てサロン

0歳から就学前のお子さんと保護者の方、その他、地域にお住まいの皆さんどなたでも参加できます。自由に集いながら、他の親子との交流を深めたり楽しい遊びを紹介しています。多くの方々のお越しをお待ちしています。

毎週
月曜日 午前9:45
～11:15 場所：常盤児童会館
(常盤2条2丁目)

※小中学校の春・夏・冬休み期間中は開催していません。

詳しい問い合わせ先

南区保健福祉サービス課子育て支援担当

☎582-2400 (内線607)

南区裏駒内幸町1丁目 南保健センター2階

芸術の森地区 情報交流センター設置決まる

芸能会館に現在ある情報交換スペース・そらぬまを充実させたものとするため、新たにパソコンをはじめミーティングテーブル、茶道具セットなどを備え付けます。

当交流センターは、当地区内に在住する方が日頃行ってる町内会や福祉関係の活動

あるいはグループ活動などを支援するためのものです。

各種活動に必要な情報の収集、打合わせ、印刷、製本などに気軽にご利用頂けるので、ご利用は二月上旬を目途に南区と協議を進めています。

・マップのデザインとグラフィック

札幌市立高等専門学校の後藤教授をはじめ専攻科の渋倉吾子さん、山田桃子さんのご協力により、アート感覚あふれるものとなりました。

以上、各関係者のご協力により新年早々皆様のところへお届けできるまでになりました。文化マップ作成委員の皆さんをはじめ、南区役所総務企画調整担当係、芸術の森連絡所、札幌市立高等専門学校等でマップづくりに携われた皆様に対しお礼申しあげます。

立てるとともに、地域のふれあいを深めることを目的としてマップを作成しました。

二月まで延べ七回におよびました。その間、文化マップリストの分類をはじめマップ掲載対象者の範囲と基準についての検討、原稿の配布と収集、集約などで、委員の方全員が活躍されました。

- ・データの整理とマップ落し
- ・データのコンピューター入力

は、芸術の森連絡所と南区役所企画担当係が担当し、マップ落しは作成委員と連絡所長が行うなど、南区役所総務企画調整担当係、芸術の森連絡所ならびに作

■平成14年 芸術の森地区 文化マップ作成委員

役職	氏名	所属町内会
委員長	高橋 稔一	アートパークタウン 町内会 会長
副委員長	関口 明	常盤団地町内会 会長
作成委員長	西野 忠士	サンブライ特真駒内 町内会 会長
作成委員	藤沢 昭	常盤二区町内会 会長
"	井村 原之	駒岡団地町内会 会長
"	堀川 昭八	石山東町内会 副会長
"	古内 治子	常盤一区 社会部員
特別作成委員	高橋 登	見晴町内会顧問
"	古内 昭	常盤体育振興会 会長
"	安藤 晃	滝野町内会 副会長
"	中村 裕	真駒内駒岡町内会 会計監査

☆南区PTA連合会主催の「思いやりの心を育てる」をテーマにしたシンポジウムに参加した。親や大人の姿勢を問う発言が多く、親自身が「思いやりの心を持つこと」の大切さが確認された。